

日本顎顔面インプラント学会雑誌投稿規定

平成14年7月1日制定
 平成15年11月1日改定
 平成16年11月1日改定
 平成17年11月1日改定
 平成18年11月1日改定
 平成19年11月1日改定
 平成20年11月1日改定
 平成21年11月1日改定
 平成22年11月1日改定
 令和元年11月1日改定
 令和2年11月1日改定
 令和3年11月1日改定
 令和4年11月1日改定

1. 本学会誌の目的

日本顎顔面インプラント学会は、本学会の目的に沿った研究成果を発表するために日本顎顔面インプラント学会雑誌（以下、本会誌）を年4回以上発行する。なお、本会誌の略記は、顎顔面インプラント誌とする。

2. 原稿の投稿および採否

- 1) 投稿は、日本顎顔面インプラント学会会員に限る。ただし、編集委員会が特に認めたものはこの限りではない。
- 2) 原稿締め切り（発行）は、前年12月末（4月・1号）、4月末（8月・2号）、8月末（12月・4号）、で3号は学会抄録集とする。
- 3) 原稿が編集委員会（事務局）に到着した日をもって受付日とし、受領書を発行する。
- 4) 原稿の内容は、他誌に投稿または掲載されていないものに限る。投稿原稿の種目は、総説、原著（基礎研究・臨床研究）、症例報告、その他（調査・資料、技術、紹介など）のいずれかとする。症例報告は、原則として最終補綴から1年以上経過観察したものとする。
- 5) 投稿に際し、学会ホームページの電子投稿に必要な事項をすべて記載し、投稿時には投稿票とチェックリストに所要事項を記入し、共著者の投稿承諾書を添付する。
- 6) 投稿された論文は、編集委員会で査読する。
- 7) 論文の採否、掲載順序等は、査読の結果を参考にし編集委員会が決定する。
- 8) 査読結果に対応して投稿者は論文の加筆・修正を行い、学会ホームページの電子投稿「再投稿」より返信する。
- 9) 掲載された投稿原稿は、原則として返却しない。
- 10) 論文の掲載が決定した後に、論文掲載証明書を発行する。
- 11) 本会誌に論文を掲載する際には受付日と採択日を明記する。

3. 投稿用原稿の記載要項

- 1) 原稿は本学会ホームページに掲載の「投稿論文作成の手引き」に従って作成すること。
- 2) 日本文の場合、ワープロソフトを用い、本文記載用 word を用いて A4 版 1 枚につき 1 行 26 文字 × 30 行

(12 ポイント、明朝体) で作成する。英文の場合には、A4 版用紙にダブルスペース (12 ポイント、Times New Roman, 28 行) とする。本文の 1 頁は、約 2,000 字に相当する。

- 3) 原稿の 1 頁目には、表紙を添付する。表紙には、原稿の種類、論文表題、著者名、所属、略題（ランニングタイトル：25 字以内）、別刷希望部数、および連絡先（住所、氏名、電話番号、FAX 番号、e-mail アドレス）を明記する。なお、論文表題、著者名、所属には英文を併記する。
- 4) 原稿は、表紙、英文抄録、和文抄録、本文、文献、図・表の説明文、図・表の順に入力する。なお、図・表の説明文は原則和文とする。
- 5) 英文抄録は 300word 以内、和文抄録は英文抄録と内容の一致したもので、500 字以内とする。抄録は、目的、方法、結果、結論の明確なものとする (structured abstract)。抄録には、英文キーワード、和文キーワードをそれぞれ 3 ないし 5 個入れる。
- 6) 数字は算用数字を用い、度量衡の単位、記号は、SI 単位を原則とする。
- 7) 学術用語は、医学用語または医学用語辞典（日本医学会編）を用いる。
- 8) 歯学用語は、文部科学省学術用語集・歯学編（日本歯科医学会編）を用いる。歯式の記載は下記に従う。
 - ①本文中の初出の表記は、上下顎、左右側、歯種の順とする。
 - ②2 回目以降は Zsigmondy/Palmer 式の歯式表記法あるいは two-digit system を用いて差し支えない。ただし、表記法は何れかに統一すること。
- 9) 医療材料、薬品、機器などの記載は、一般名称に続いて、() 内に製品名、型式、製造社名、製造国名または都市名を順に記載する。
 (記載例)
 ・チタンメッシュプレート (1.0mm マイクロメッシュ、日本マーチン株式会社、東京、日本)
 ・インプラント体 (ブローネマルクシステム MK III, Nobel Biocare, Göteborg, Sweden)
- 10) 写真・図は Microsoft 社の power point[®] で作成し、PDF 形式に変換する。表は同社の Excel[®] などで作成し、PDF 形式に変換する。余白に、写真 (図・表) 番号を記載すること。なお、写真は手札版 (約 9cm ×

13cm)以上の大きさとし、解像度はカラーは400dpi以上、モノクロは600dpi以上とすること。

写真はカラー印刷はトレースなどを希望する場合は、その旨を用紙の余白に明記すること。また、白黒印刷を希望する場合は、投稿時においても必ず白黒写真を添付すること。

- 11) 症例報告のみに限り、原稿の長さを刷り上がり4頁以内(図表・写真を含め400字原稿用紙約20枚以内・図表は一枚につき原稿用紙1枚に換算)に制限する。

4. 文献の記載要項

- 1) 必要最小限なものとする。
- 2) 本文中に右肩番号を付け、記載は引用順とする。
- 3) 雑誌の場合 引用番号) 著者名: 表題. 雑誌名 巻: 始頁 - 終頁 発行年 (西暦). の順に記載する。
- 4) 単行本の場合 引用番号) 著者名: 表題. 編集者名; 書名. 版数, 発行所, 発行所所在地, 発行年 (西暦), 始頁 - 終頁. の順に記載する。
- 5) 訳本の場合 引用番号) 原著全体の編著者名; 訳書名 (訳者名). 版数, 発行所, 発行所所在地, 発行年 (西暦), 始頁 - 終頁. : 原書名. 原書の版数, 発行所, 発行地, 発行年. の順に記載する。
- 6) Webサイトの場合 引用番号) 著者名: 表題. Webサイトの名称 巻: 始頁 - 終頁 発行年 (西暦). 入手先 URL. 参照年月日. の順に記載する。なお、「著者名, 巻: 始頁 - 終頁 発行年 (西暦)」などの情報が無い場合は記載不要とする。
- 7) 共著者が3名以上の場合、最初の2名を連記し、それ以上は他と省略する。欧文で共著者が2名の場合には、著者名の間に接続詞 (and など) を入れる。
- 8) on line journal や頁の記載のない引用論文は、PubMed形式に準じて .doi を記載する。記載例 (4)。
- 9) 抄録はできるだけ用いない。用いる場合には、表題の後に (抄) を付記する。
- 10) 雑誌名の略記は、医学中央雑誌所蔵目録に従い、外国文献は Index Medicus 所蔵のものに従う。
- 11) 原則として学会抄録や商業雑誌の引用は認められない。

記載例

- 1) 山下佳雄, 森 啓輔, 他: 下顎骨再建に用いた移植骨へ埋入したインプラント周囲骨の経時的変化. 顎顔面インプラント誌 10: 63-68 2011.
- 2) Blackburn, T.K., Cawood, J.I., et al.: What is the quality of the evidence base for pre-implant surgery

of the atrophic jaw ?. Int J Oral Maxillofac Surg 37: 1073-1079 2008.

- 3) Sandner, A. and Bloching, M.: Retrospective analysis of titanium plate-retained prostheses placed after total rhinectomy. Int J Oral Maxillofac Implants 24: 118-123 2009.
- 4) Davudov, M.M., Rahimov, C., et al: The use of pectoralis major musculocutaneous and deltopectoral flaps in oromandibular defects reconstruction. World J Plast Surg 2019; 8(3): 401-405. doi: 10.29252/wjps.8.3.401.
- 5) 高橋榮明: 骨のリモデリングとモデリング. 須田立雄, 小澤英浩, 高橋榮明, 田中 栄, 中村浩彰, 森論史編; 新骨の科学. 第1版, 医歯薬出版, 東京, 2007, 231-246 頁.
- 6) Chiapasco, M., Rosenlicht, J.L., et al.: Contraindications for sinus graft procedures. Jensen, O.T.; The Sinus Bone Graft. 2nd ed., Quintessence Pub., Chicago, 2006, p87-101.
- 7) Renouard, F., Rangert, B.; インプラント補綴のリスクファクター (前田芳信, 米畑有理訳). 第1版, クインテッセンス出版, 東京, 2000, 40-46 頁: Risk Factors in Implant Dentistry. 1st ed., Quintessence Pub, Chicago, 1999.
- 8) 歯科インプラント治療指針 (平成 25 年 3 月: 歯科医療従事者向け/日本歯科医学会編). Japanese Ministry of Health, Labour and Welfare available at : http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/shika_hoken_jouhou/dl/01-01.pdf. Accessed July 3, 2014.

5. 利益相反 (conflict of interest: COI) 状態の開示

論文の種別にかかわらず COI の有無について別掲の「論文・学会発表に関する利益相反の開示について」に従い、論文末尾の「文献」の前に以下の記載例にならって記載し、開示すること。

- 1) COI 状態がない場合: 「本論文に関して、開示すべき利益相反状態は無い。」
- 2) COI 状態がある場合: 「本論文に関して、開示すべき利益相反状態あり。」

6. 研究などへの助成に関する事項

研究の遂行や論文作成に、企業などから研究費助成ならびに試料提供などの経済的支援を受けた場合には、その旨を記載する。

尚、国内外のたばこ製造にかかわる事業者またはその関連団体から経済的支援のある投稿論文は受け付けない。

7. 著作権

掲載された論文の著作権（著作財産権 copyright）は、本学会に帰属する。また、著者は当該著作物の複製権および公衆送信権の行使を日本顎顔面インプラント学会に委任するものとする。

8. 掲載料

- 1) 本文刷り上がり 4 頁以内は、掲載料を無料とする。それ以上の場合、規定の投稿料を頂く。また、図・表は実費とする。ただし、依頼原稿はこの限りではない。
- 2) 別刷は 50 部以上とし、費用は著者の負担とする。

9. 校正

著者校正は原則として初校のみとする。組み版面積に影響を与えるような加筆、変更は認めない。

10. 原稿の投稿

- 1) 投稿の際は、本学会ホームページに掲載の「投稿表ならびに投稿前チェックポイント」の書式ファイルをダウンロードの上、必要事項を記入したものを投稿論文に添付すること。
- 2) 原稿は、必要書類は 1 つのファイルフォルダに入れ圧縮し（zip 形式のフォルダ）、本学会の「電子投稿ウェブサイト」（<https://www.jamfi.net/gakkaisi.html>）から
- 3) 「電子投稿手順」に従い投稿すること。

11. その他

本規定にない事項は、編集委員会で決定する。

12. 投稿に関するお問い合わせ先

(株)学術社内 日本顎顔面インプラント学会雑誌編集担当
TEL : 03-5924-1233 FAX : 03-5624-4388
E-mail : gak-edit@gakujyutsusha.co.jp